



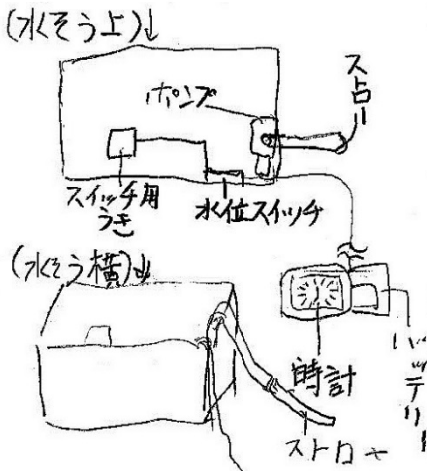
発明協会会長奨励賞

作品名	自動水やり機
学校名	福井市明倫中学校(福井市少年少女発明クラブ) 2年
氏名	なかはら ゆうき 中原 悠希

この作品の特徴は、人がいなくても時刻を設定すれば、自動で水やりができるということです。考えた動機は、夏になると土がすぐに乾いてしまい、暑くて外へ出ることが苦しいという事があったからです。

工夫した点は、まず、水が減って、ポンプで水がくみ上げられない量になると、自動的に止まるようにしたことと、ポンプ用のバッテリーを充電式にして、コンセントが近くになくともつかえるようにしたところです。

また苦労した点は時間になると水が出るように時計を改造する必要があったことです。使い方は充電式ポンプ用バッテリーを充電し、水やりの時間を時計から合わせ、水をピンクの線まで入れます。ポンプからくみ上げられた水は、ストローから出てくるので、水が土に当たるように先をおきます。合わせた時刻になると、自動的に水が少しになると止まります。スイッチはないですが水を入れていないと動きません。



作品の大きさ

縦 24 cm 横 17 cm 高さ 12 cm
重さ 0.2 kg